第５回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　次第

日　時　令和７年12月18日(木)
9:30～11:00
場　所　熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

１ はじめに、開　会

２ 議　　事

（１）報告事項

１）「熊谷市荒川かわまちづくり」計画の登録の報告と第4回協議会のふりかえり

令和７年８月１日、国土交通省のかわまちづくり支援制度に「熊谷市荒川かわまちづくり」計画が登録されました。　**資料１，２**

２）Ｒ７年度社会実験結果の報告

荒川水辺の自然体験学習会　Ｒ７．９．４実施　**資料３，４**

（２）意見交換

１）Ｒ８年度社会実験の企画　**資料５**

２）都市・地域再生等利用区域の指定に向けた調整　**資料６**

３ おわりに、閉　会

【配布資料】
・次第
・第５回熊谷市荒川かわまちづくり協議会出席者名簿／座席表
・資料１「熊谷市荒川かわまちづくり」計画の登録の報告資料
・資料２ 第４回協議会議事要旨
・資料３ Ｒ７年度社会実験「荒川水辺の自然体験学習会」の概要
・資料４ 荒川水辺の自然体験学習会のアンケート調査結果
・資料５ Ｒ８年度社会実験企画（地域交流イベント）検討素案
・資料６ 都市・地域再生等利用区域の指定について
・別紙１「熊谷市荒川かわまちづくり」計画書

以上

熊谷市荒川かわまちづくり協議会　委員名簿(令和7年12 月18 日）13名

役職名	区　分		氏　名	所属	出欠
会長	学識経験者		田中（たなか）　規夫（のりお）	埼玉大学大学院 理工学研究科 (兼)埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター	
委員	地区を代表する者		原（はら）　邦夫（くにお）	荒川自治会連合会	×
委員			野口（のぐち）　幸雄（ゆきお）	河原町自治会	
委員	関係団体を代表する者	商工産業	岡部（おかべ）　聡史（さとし）	熊谷商工会議所	
委員			山田（やまだ）　廣和（ひろかず）	一般社団法人　熊谷青年会議所	
委員		スポーツ振興	赤沼（あかぬま）　昇（のぼる）	公益財団法人　熊谷市スポーツ協会	
委員		観光振興	野口（のぐち）　一都（かずと）	一般社団法人　熊谷市観光協会	代理
委員		教育	小川（おがわ）　義人（よしひと）	熊谷市立桜木小学校	
委員		福祉 子育て	高橋（たかはし）　美香（みか）	熊谷市障害者団体連絡協議会	×
委員			大﨑（おおさき）　幸恵（さちえ）	NPO 法人　子育てネットくまがや	×
委員		環境	須永（すなが）伊知郎（いちろう）	公益財団法人 埼玉県生態系保護協会	×
委員			江原（えはら）　仁（ひとし）	NPO 法人　熊谷の環境を考える連絡協議会	
副会長	市職員		新井（あらい）　賢一（けんいち）	熊谷市　建設部	

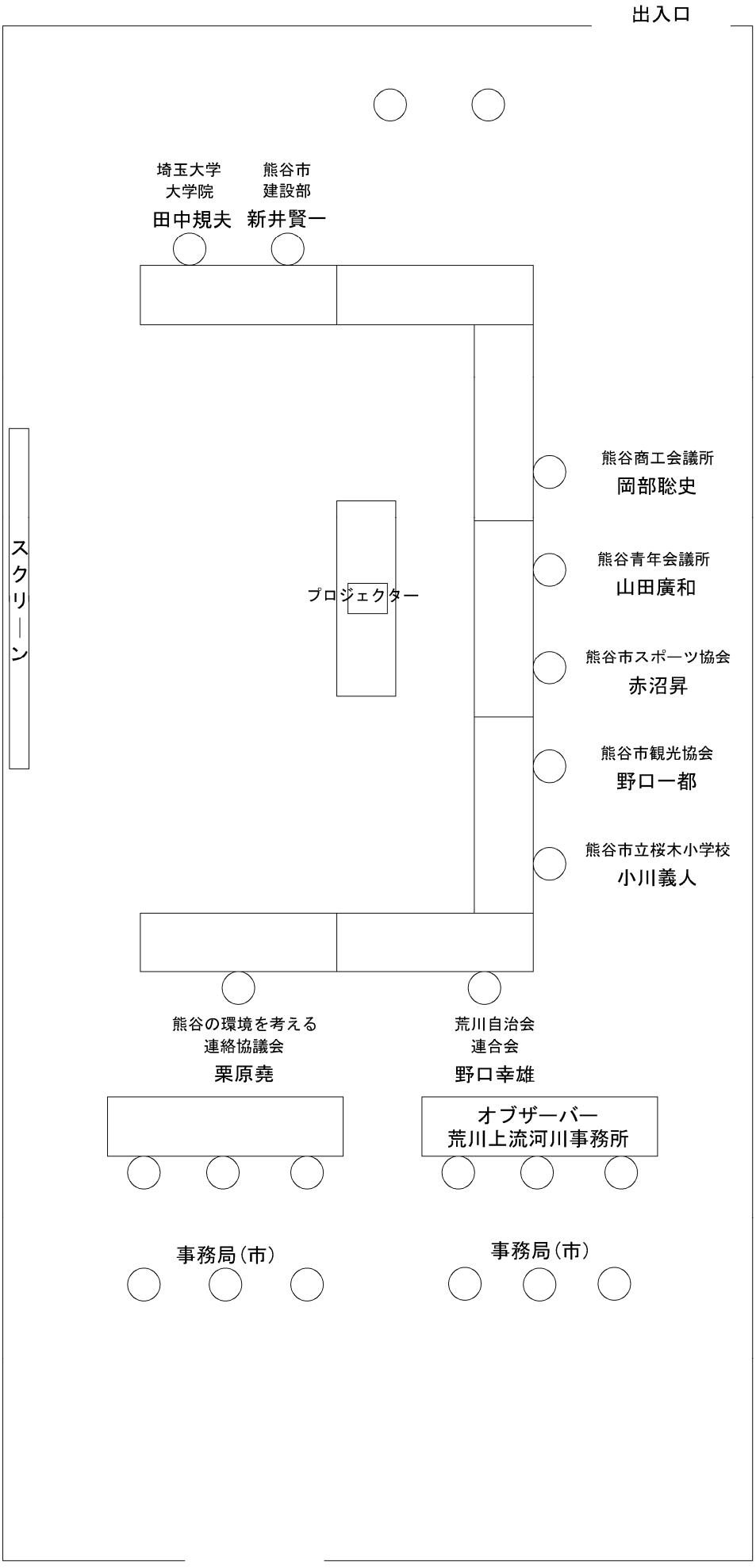
【事務局】

熊谷市　建設部河川課

【オブザーバー】

荒川上流河川事務所　河川環境課

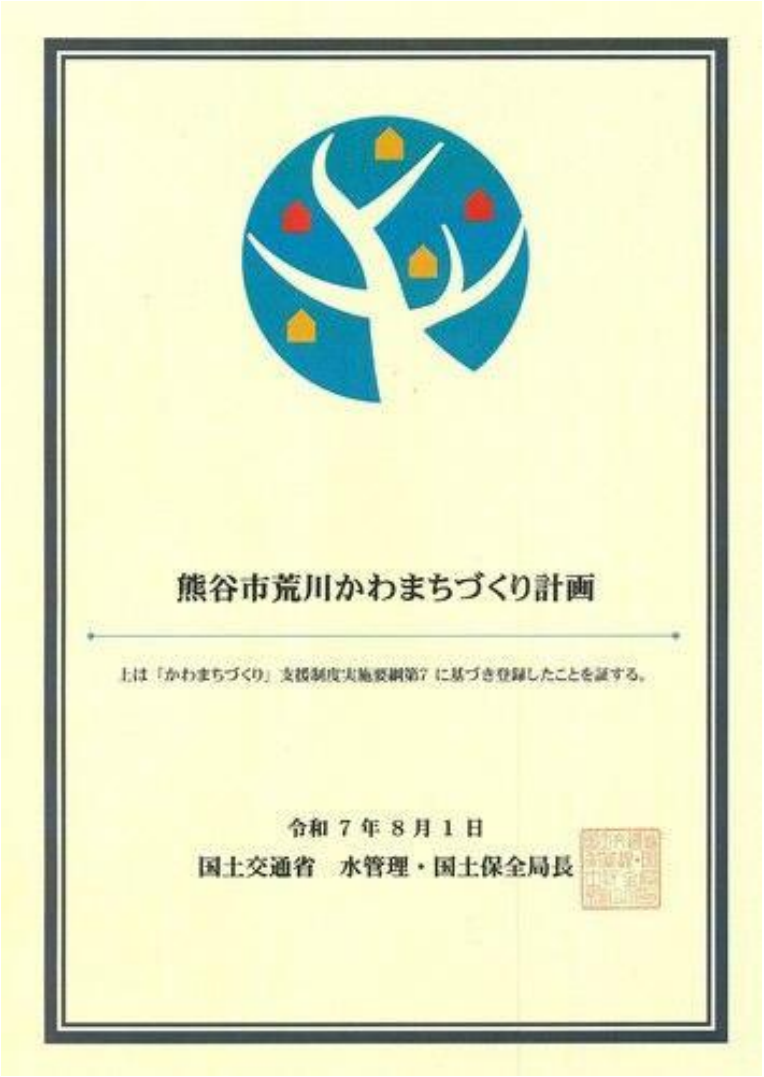
座席表


出入口
埼玉大学
大学院
田中規夫
熊谷市
建設部
新井賢一
スクリーン
プロジェクター
熊谷商工会議所
岡部聡史
熊谷青年会議所
山田廣和
熊谷市スポーツ協会
赤沼昇
熊谷市観光協会
野口一都
熊谷市立桜木小学校
小川義人
熊谷の環境を考える
連絡協議会
栗原堯
荒川自治会
連合会
野口幸雄
オブザーバー
荒川上流河川事務所
事務局（市）
事務局（市）

「熊谷市荒川かわまちづくり」計画の登録の報告

資料１

- 令和7年8月1日、水辺を生かして地域の賑にぎわい創出を目指す取組である「かわまちづくり」支援制度に「熊谷市荒川かわまちづくり」計画が登録。
- 荒川上流河川事務所 萩原所長（右）から小林市長（左）へ登録証を授与されました。



登録証





小林市長（左）と萩原所長（右）

資料２

第 4 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 7 年 3 月 27 日(木)　14 時 30 分から 16 時 30 分まで

●場　　所：熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

●次　　第：1. はじめに、開会、挨拶、出席者紹介
2. 議事(1)　(1) 第 3 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返り
3. 議事(2)　(1) かわまち計画書（案）
(2) かわまちづくりの今後の進め方
4. おわりに、閉会

●出席者：(出席委員) 田中規夫会長、山下克己副会長、岡部聡史委員、山田廣和委員、
小川義人委員、須永伊知郎委員、栗原堯委員
(欠席委員) 赤沼昇委員、野口一都委員(代理出席：金子克彦氏)、野口幸雄委員
高橋美香委員、大﨑幸恵委員

(事務局) 熊谷市　小林哲也市長
建設部河川課
(オブザーバー) 荒川上流河川事務所　河川環境課
流域治水課
(コーディネートサポート) 澤田俊明（徳島大学人と地域共創センター・客員教授）

●資　料：次第
委員名簿/座席表
資料 1 第 3 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会議事要旨
資料 2 熊谷市荒川かわまちづくり計画（案）
資料 3 地域協働によるかわまち野原再生プロジェクト（案）
資料 4 今後の進め方について（スケジュール、役割分担と推進体制）（事務局案）
別紙 1 第 3 回協議会意見の対応一覧

1. はじめに、開会、挨拶、出席者紹介	
事務局	・開会の挨拶。
2. 議事(1) （1）第 3 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返り	
事務局	・資料 1、別紙 1 をもとに、第 3 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返りについて説明した。
3. 議事(2) （1）かわまちづくり計画書（案）	
事務局	・資料 2 をもとに、かわまちづくり計画書（案）について説明した。
委員	・工程表の「荒川緑地再整備」や「自然学習環境」の中に「野原再生プロジェクト」を含んでいると考えている。 ・今後はソフト施策だけでなく基盤整備をしていただきたい。
事務局	・詳細は後ほど説明を行う。
（2）かわまちづくりの今後の進め方	
事務局	・資料 3 をもとに、地域協働によるかわまち野原再生プロジェクト（案）について説明した。生態系保護協会や桜木小学校、熊谷の環境を考える連絡協議会とともに荒川緑地保全エリアを希少在来植生の復活への拠点となるよう位置づけ、そこを核として地域との協働による希少在来植生の分布・拡大を目指す。
委員	・「荒川河川敷の保全と利用のあり方」において、計画対象エリアは、利用面積は８割未満、２割以上は自然環境を保全する利用ブロックに位置付けられている。計画対象エリア内の最下流部の未利用地は、現状外来種や雑草が放置されている状況であり、生物多様性に加え景観的にも問題がある。野原再生プロジェクトの今後の取組展開として、この最下流部の未利用地を計画対象エリアに追加し、基盤整備（ハード施策）を含めかわまちづくり計画書に記載いただきたい。
事務局	・ご指摘頂いた最下流部の未利用地の取組展開について、公園課等の関係課との調整の上、かわまちづくり計画への記載事項について検討する。
会長	・最下流部のエリアへの取組展開について、取組内容の可能な範囲を関係課と調整の上、計画書に反映していただきたい。
委員	・外来種が茂っている箇所については 5 年間の中で工程を組んでいただきたい。 ・『在来植物の多様性がカギになる』[1] にはカワラナデシコの移植事例の記載があるので参考に確認いただきたい。
事務局	・資料 4 をもとに、市民・行政協働のかわまちづくり活動（案）について説明した。欠席された委員から事前にいただいた市民・行政協働のかわ

	まちづくり活動（案）のご意見を紹介した。
コーディネートサポート	・参加、成功の状態には、次の 3 つがある。①より良いものができる（計画合理性）、②参加者の意見が最大限反映される（意見反映性）、③みんなが納得する手順（手続き正当性） ・参加の意味として、人間を観察し続けて感性工学を創始した長町三生氏（広島大学名誉教授）によれば、自我関与や責任感などが人間の喜びや満足に結びつくそうである。自我関与や責任感は「参加」により強められる。熊谷かわまちづくりで参加を促進することは、参加者の喜びや満足を生む大きなきっかけとなるものと言える。 ・本日の審議内容に関する質問、市民・行政協働のかわまちづくり活動（案）に関する意見交換を行った。意見交換の結果を図-1、表-1 に示す。
コーディネートサポート 会長	・第 4 回協議会のソフト提案における意見交換で「つなぐ仕組みづくり」の意見がでて共有されたことは、とても重要と思う。 ・ワークショップでは出なかった視点の様々なご意見をいただいた。 ● 具体的な活動のアイデア ● 既存活動の拡張で連携可能な活動 ● ノウハウとして協働できること ● 各団体が考えている活動をつなぐ仕組みづくり ● かわまち野原再生プロジェクトを知ってもらい、荒川の上中下流での交流による発展 ● スポーツを見る ● 渋滞対策の整備
コーディネートサポート 会長	・図-2 に示す本日の協議会内容を記したグラフィックレコーディングの説明を行った。 ・グラフィックレコーディングから発展していくことも可能であるので、次のアイデアや連携を考えていただきたい。
4. おわりに、閉会	
事務局	・令和 7 年度かわまちづくり計画登録に向けて、第 4 回協議会の結果を踏まえて計画書の更新を行う。今年度予定していた全 4 回の協議会は終了したが、社会実験等の開催を検討しているため、協議会だけでなく部会として今後もお集まりいただきたい。
事務局 オブザーバー	・閉会の挨拶。 ・閉会の挨拶。 以上

1）根本正之. 在来植物の多様性がカギになる. 岩波ジュニア新書

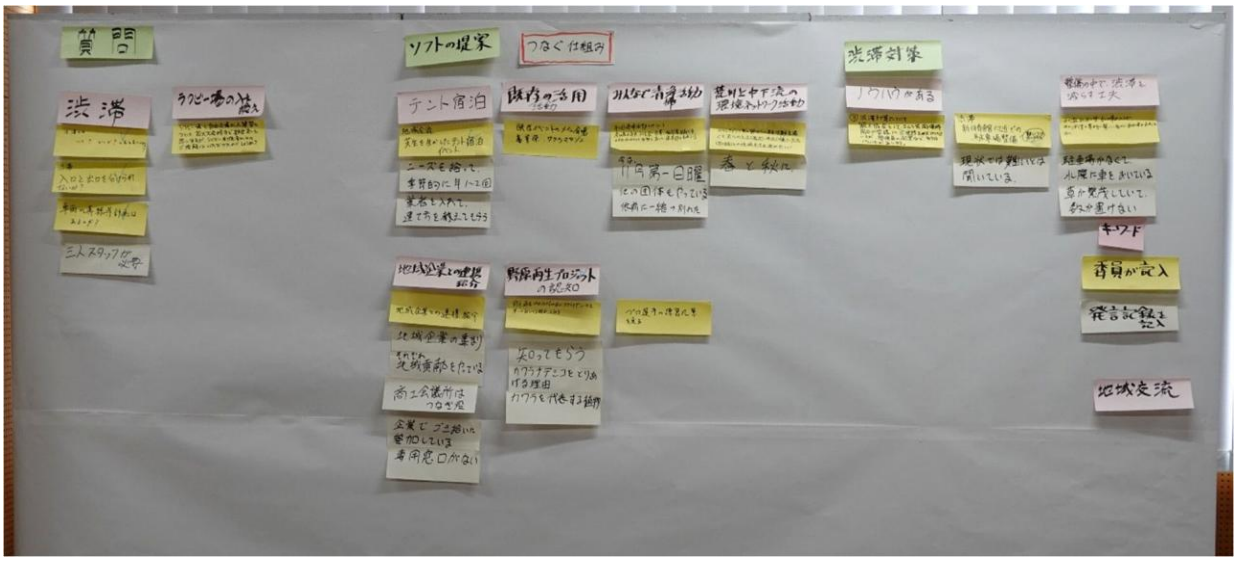


図-1　意見交換結果

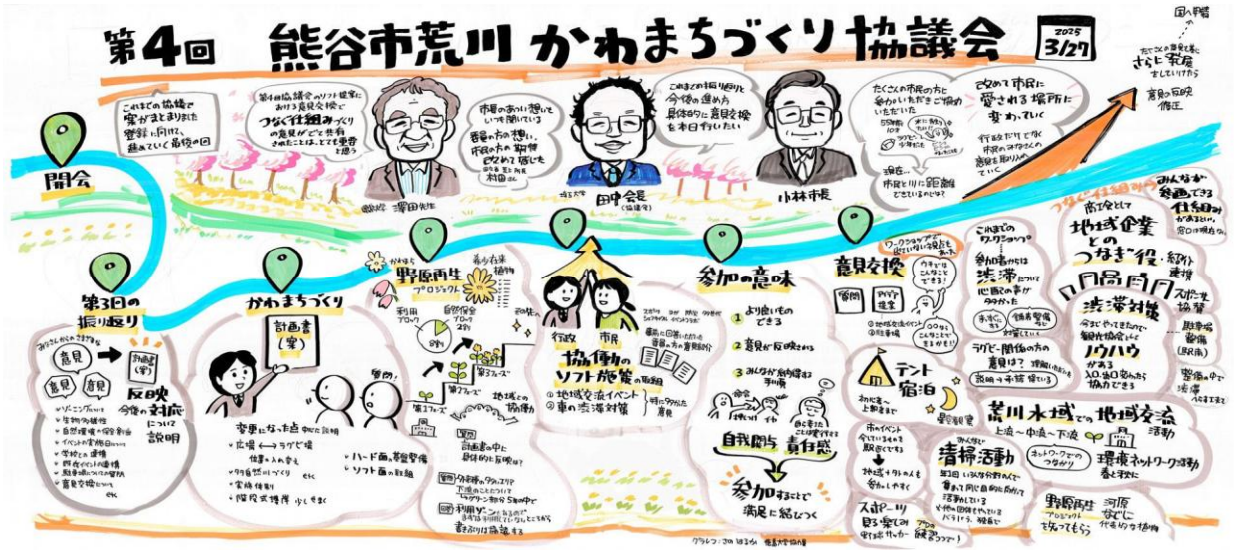


図-2　グラフィックレコーディング

表-1　市民・行政協働のかわまちづくり活動（案）に関する意見交換結果

●質問

項目分類	委員記述	発言記録	事務局・会長
渋滞	渋滞とは いつ？どこで？の事を言っているのか？		WSでも渋滞対策の話があり、坂路をくの字形から直線形に変更している また、荒川緑地内の駐車場も舗装をし、幅の広い坂路で交互通行の動線としている
	渋滞 入口と出口をわけられないか？		
	車両の導線等計画はあるのか？		
		三人スタッフが必要	
ラグビー場の入れ換え	ラグビー場と自由広場の入替について、花火大会時など都合良いと思いますが、ラグビー関係者からのご理解はいただけたのでしょうか？		熊谷市ラグビー協会や熊谷不惑倶楽部、埼玉県ラグビー協会とは協議を行い、承諾を得た

●ソフトの提案、つなぐ仕組み

項目分類	委員記述	発言記録	事務局・会長
テント宿泊	地域交流 芝生を生かしたテント宿泊イベント	ニーズを拾って、季節的に年1～2回	
		業者を入れて、建て方を教えてもらう	
既存活動の活用	既存イベントのメイン会場 ・産業祭　・サクラマラソン		
みんなで清掃活動	年1回清掃活動を行っている 参加者は市民、子ども会、企業、組合等多彩です 28年目になるが、活動を通して連帯感も生まれている	今は、11月第一日曜	
		ほかの団体もやっている 以前は一緒に→別れた	
荒川上中下流の環境ネットワーク活動	カワラナデシコ等の野はらの再生活動を通じて荒川の上流(熊谷)・中流(川島)・下流(荒川区等)との地域交流を進めたい！	春と秋に	
地域企業との連携紹介	地域企業との連携紹介	地域企業の集まり	
		それぞれ地域貢献をやっている	
		商工会議所はつなぎ役	
		企業でゴミ拾いに参加している	
		専用窓口がない	
野原再生プロジェクトの認知	野原再生プロジェクトの中でカワラナデシコを第一に取り上げる理由を知る	知ってもらう	
		カワラナデシコをとりあげる理由	
		カワラを代表する植物	
プロ野球の練習風景	プロ野球の練習風景を見る		

●渋滞対策

項目分類	委員記述	発言記録	事務局・会長
ノウハウがある	③渋滞対策について 観光協会として、さくら祭開催時周辺の皆様にご迷惑をおかけしているが、警備員の配置など多少はノウハウがあります		
	渋滞 新体育館付近での駐車場整備 （難しいとは思いますが）	現状では難しいとは聞いている	
整備の中で渋滞を減らす工夫	河川敷利用の際多くの車が入るが、河川間際に草が多く茂っているので車が止められない	駐車場がなくて水際に車をおいている 車が繁茂していて、数が置けない	

●欠席委員からの回答

メニュー	取組内容
食	サポートで、観光協会の会員であるキッチンカーを所有している方に呼びかけを行う
お祭り	企画、運営（ほかの団体との連携が必要） 福祉事業所の販売、車いす体験、車いすで出来る遊びやスポーツ
多世代イベント	協会加盟団体及び協会支援スポーツ団体との連携 親子参加、祖父母と孫参加 グラウンド・ゴルフ（グラウンド・ゴルフ協会　道具あり） ベーゴマ、フライングディスク（ピース地域総合型スポーツクラブ） 大縄跳び（スポーツ協会　道具あり）　等々
スポーツ健康づくり	協会自主事業との連携 •青空の下野外ヨガ教室 •水辺の散策路等でノルディックウォーキング講習会 協会加盟団体及び協会支援スポーツ団体との連携 ・ラグビーイベント・ソフトボール大会・サッカー基本体験会等 （計画書に記載のとおり）
車の渋滞対策	・シェアサイクルステーションの増設 YKサイクルステーションとの連携 参考：現体育館前シェアサイクルステーションの利用頻度高い ・駅から直通歩道（ペデストリアンデッキ構想）
ミニくまSUNフェスタ	平日AM開催 インクルーシブ遊具体験（社会実験時に利用）
青空広場	手遊び、絵本、ベンチ（社会実験時に利用）
公園で遊ぼうin荒川河川敷	土曜日AM キッチンカー（社会実験時に利用）
地域での防災訓練	
自治会住民でのグラウンドゴルフ大会	
地域住民でのウォーキング大会	
地域住民との芋煮会	
地域主催の宝探し	

資料３



荒川水辺の自然体験学習会　報告



アユ

|日　　時：9月4日(木) 9時～12時　　|会　　場：熊谷荒川緑地、荒川河川敷
|内　　容：自然体験学習会　　|参加人数：桜木小学校5年生児童39人
|実施主体：熊谷市・熊谷市立桜木小学校



実施概要：

荒川の水辺の新たな利活用の試みとして、荒川の豊かな自然を活かし、熊谷市と桜木小学校が協力して「荒川水辺の自然体験学習会」を開催しました。

桜木小学校5年生39名が専門家の解説を受けながら生き物探しや水質調査を体験し、川の安全教室も行われました。市長も参加し、児童と共に自然の魅力を感じる時間を過ごしました。



オイカワ

学習メニュー：

1. 楽しみながら学ぶ川の安全教室
2. 荒川に棲む生き物探し体験＆専門家による生き物解説
3. 生き物による水質調査＆パックテストを用いた水質検査
4. 学習まとめ、学習を通した荒川の魅力の共有





コオニヤンマのヤゴです！
ぼくがいる場所は、ややきれいな水だよ。

荒川に住む生き物探し体験

網を使って、浅瀬とワンドの２箇所で生き物を探しを行いました。水生昆虫や底生生物、魚の稚魚を見つけました。



専門家による生き物解説

生き物の名前や好む環境を確認しました。



荒川の水質は「ややきれい」でした！

生き物を用いた水質調査 川がどれくらいきれいか判定

生き物の種類と数で川がどれくらいきれいか判定しました。



CODは2mg/L くらいかな？

パックテストを用いた水質検査

生き物を用いた水質調査の結果とパックテストを用いた水質検査の結果を比べてみました。



もんだい１
川で遊ぶ時に忘れていけないものは？
Ⓐライフジャケット　Ⓑうんこ

活用教材：国土交通省・河川財団×うんこドリル



楽しみながら学ぶ川の安全教室

アンケート（参加した感想（一部のご紹介））

【参加児童】参加児童から「楽しかった」の感想をたくさん頂きました！

【児童の感想】
・魚がいっぱいいたし、色んな生き物がいっぱいいたので楽しかったです。
・自分の知らないことがたくさん知れて嬉しかったし、生き物を探すのが楽しかった。
・生き物を探したり観察するのがとてつもなく楽しくて、水質検査も楽しかったです。

【先生の感想】
・普段荒川に近づくような経験の少なかった子供たちがとても楽しそうに学ぶ姿が見られました。

私も小学生の頃、荒川に入って魚をつかまえたりして遊んでいました。身近な荒川について学んでもらえればと思います。



市長挨拶



荒川の自然をもっと身近に感じてもらえたかな？

学習まとめ、荒川の魅力を共有

【お問い合わせ】　熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）　TEL：048-524-1111　FAX：048-525-8878

荒川水辺の自然体験学習会　アンケート結果

熊谷市役所　建設部河川課

熊谷市では荒川緑地および周辺の水辺空間を対象とする新たな利活用の試みとして、社会実験を９月４日に実施した。荒川大橋上流の浅瀬やワンドを活用し、桜木小学校５年生の児童を対象に、専門家による詳しい生き物解説のもと、水辺の生き物探しや、生き物を用いた水質調査などを実施した。荒川自然観察会実施について、地域意見の確認のため、参加者した児童へのアンケート調査を行った。

■ 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験　荒川水辺の自然体験学習会
■ 会場　熊谷荒川緑地、荒川河川敷
■ 日時　2025 年９月４日(土) 09:00～12:00
■ アンケート調査概要
①子ども向けアンケート調査(対象:小学５年生)
調査方法:アンケート用紙への記入
回答数　:34 人（参加者 39 人(未回答５人))
調査項目:自然観察会の感想、かわまちづくり計画へのご意見

■ 子ども向けアンケート調査結果

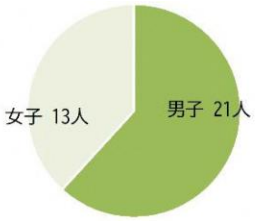
問１ 学年、性別について（n=34）

- ５年生の子ども 34 人に回答いただいた。
- 男子生徒が 21 人、女子生徒が 13 人であった。

学年 (n=34)



性別 (n=34)

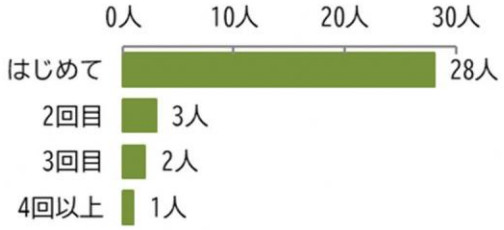


■ 子ども向けアンケート調査結果

問２ 荒川での生物探しや観察の経験（n=34）

- 水辺でいきもの観察をしたことがある子どもが約２割、初めての子どもが約８割であった。

自然観察体験回数 (n=34)



▼生き物を用いた水質調査



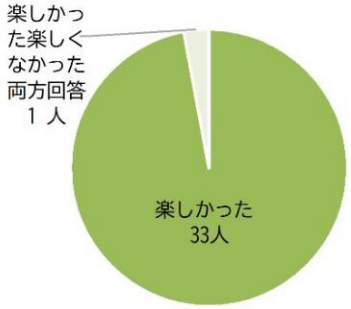
▼採取した魚



問３ 参加した感想（n=34）

- 34 人全員が「楽しかった」と回答した。
- 34 人のうち 33 人が「楽しかった」と回答、1人は「楽しかった」「楽しくなかった」の両方を回答

感想 (n=34)



楽しかった理由（意見数）
・生き物を捕まえ、触れ合い、観察できた。学べたから（27）
・水質調査が楽しかった。水質について学べたから（10）
・荒川について知ることができたから（3）
・魚を網で捕まえる方法を教えてもらったから（1）
・チームの人が優しかったから（1）
・川に行くことがないから（1）
・自然と触れ合えたから（1）
・川に入れたから（3）
・初めて知ることが多かったから（1）

楽しくなかった理由（意見数）
・川に入りたくない。生き物が気持ち悪い。(1)

■ 子ども向けアンケート調査結果

▼浅瀬での採取



▼ワンドでの採取

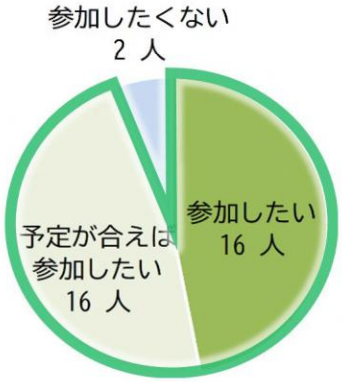


問４　今後の参加意向、実施内容（n=34）

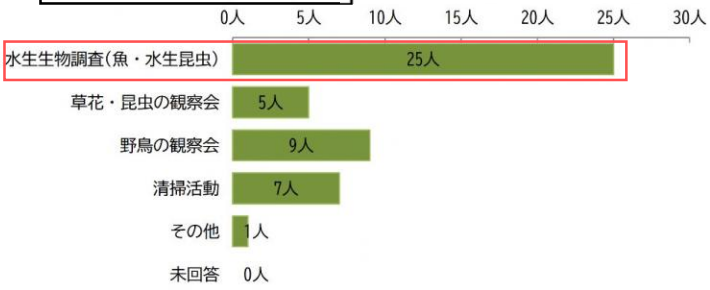
- 参加者の約９割が「来年度も参加したい」または「予定が合えば参加したい」と回答した。
- 参加者の半数以上が「水生生物調査」と回答した。

来年度の参加意向

（n=34）



来年度以降の実施内容　（n=34）　※複数回答可

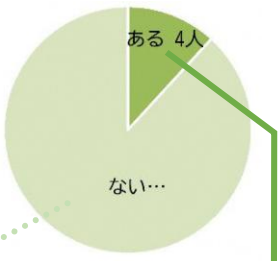


問５　今まで荒川で遊んだ（利用した）経験（n=34）

- 荒川で遊んだことがある子供は４人だった。
- 遊んだことのある子どもの利用頻度は「年に数回」であった。遊びの内容は「散歩・ジョギング」、「スポーツ」など２項目であった。
- 荒川を利用しない人は「危険だと思った」、荒川は「目的がない」等と回答した。

荒川で遊んだ（利用した）経験

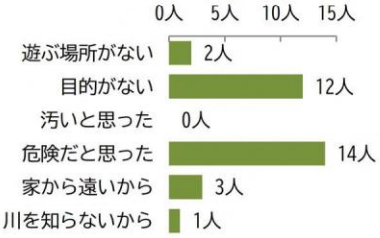
（n=34）



遊んだ（利用した）頻度と内容※（n=5）　※複数回答可



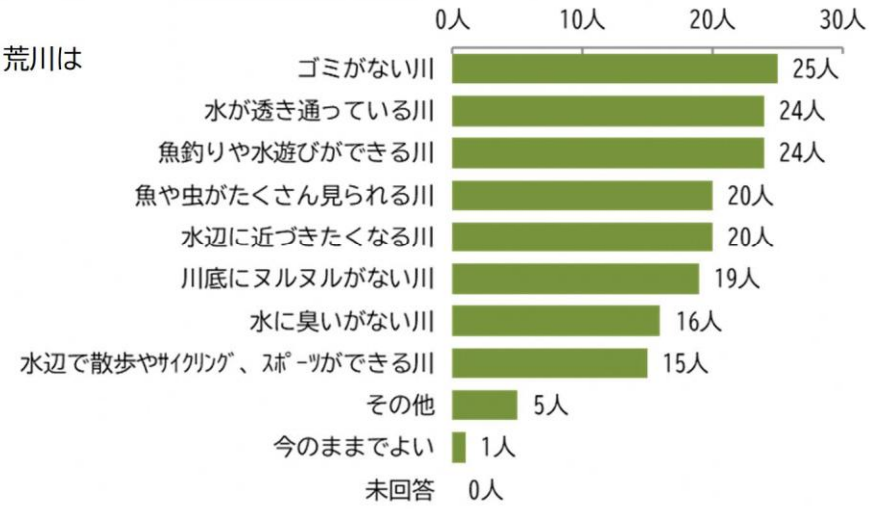
遊ばない（利用しない）理由（n=29）　※複数回答



問7　荒川をどんな川にしたいか（n=34）

- 「ゴミがない川」、「水が透き通っている川」、「魚釣りや水遊びができる川」と答えた子どもが比較的多かった。
- 「今のままでよい」と感じている人は少なかった。

荒川の目指す姿　（n=34）　※複数回答可





令和８年度
荒川かわまちづくり社会実験企画 素案
【地域交流イベント】

令和7年12月

熊谷市

荒川上流河川事務所

熊谷市荒川かわまちづくり協議会　事務局

1.協議会における主な論点

➢ 協議会における主な論点：　論点４　活動（かわまちづくりの推進体制）

・かわまちづくり計画に基づき、令和12年度の完成を目標にハード整備の設計がスタート（国、市）。
・**基本方針の実現、持続的なかわまちづくりの活動展開に向け、民間事業者や団体等による河川敷地の柔軟かつ積極的な活用の充実に資するかわまちづくりの推進体制**の検討調整を行う。
・検討項目：活動内容、実施体制・各団体の活動をつなぐ仕組みづくり、運営方法、ルール等
・地域連携による令和８年度社会実験の検討・運営・評価を通して、持続性・実行性のある推進体制の構築を目指す。

論点4　活動（かわまちづくりの推進体制）

ハード（水辺の空間づくり） × ソフト（地域の活動の展開） × 利用（市民の楽しい・新しい交流）

基本方針：地域と共創、安全・安心への寄与のもと、自然環境の保全・創出しながら、

- 水辺空間の日常利用の充実
- 熊谷らしさや人とのつながりを感じる空間
- まちへの愛着の醸成、定住促進を目指す



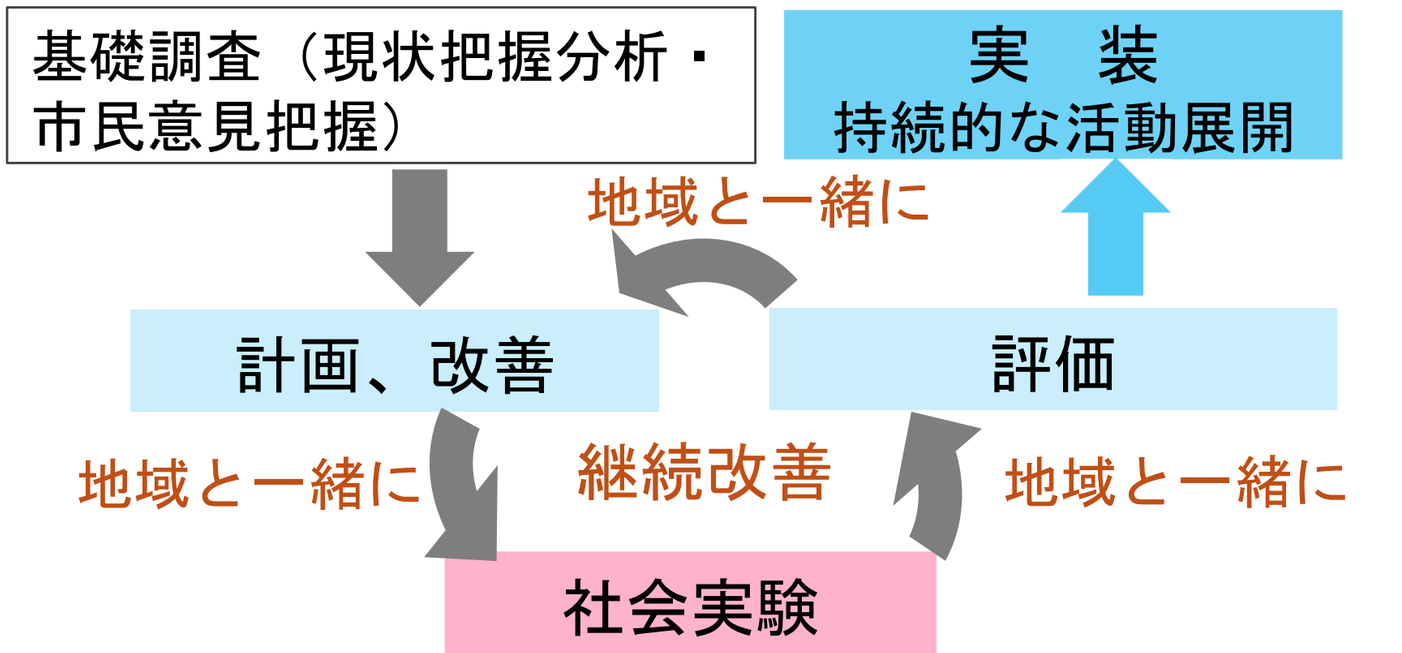


2.社会実験企画　目的

➢ 社会実験の取組について

第4回協議会意見より、地域と共創、持続的な「かわまちづくり」を実現するためには、各団体の活動をつなぐ仕組みづくりが重要

そのためには、一緒に活動を試行し、その試行と評価を繰り返しのプロセスの中で、市民や団体の活動のつながりを広げ、仲間を増やしながら、プロジェクトの実現力を少しずつ高めていく社会実験の取組が重要



社会実験を取り入れた継続改善のプロセス





社会実験の様子

2.社会実験企画　目的

➢ R6年度　社会実験のふりかえり

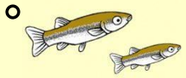
1）目的

1.かわまちづくり計画への期待や、施策（案）のニーズの確認

2.ハード・ソフト施策の実施上の問題点や課題の確認

3.社会実験イベント→荒川の河川空間の魅力、かわまちづくりの取組の情報発信

4.利活用主体（プレイヤー）の発掘

	実施概要	アンケート調査概要
社会実験① R6.10.6日 参加人数： 60～70名 自由参加	**地域交流利用の試行**  **概要：**地域交流の場の試行（休憩、遊び場）、ラグビー文化や荒川の自然環境、豪雨災害への備えの意識を醸成　する利用を試行した。  	**■一般参加者対象**　回答数：39人 **調査項目：**参加した感想、熊谷かわまち計画への意見 **■子ども対象**　回答数：18人程度 **調査項目：**水辺利用チャレンジアンケート、熊谷かわまち計画への意見
社会実験② R6.10.26土 参加人数： 20名うち 児童6名 （事前予約）	**荒川自然観察会の試行** **概要：**近隣小学校と協働により、荒川の浅瀬やワンドの生き物探しや水質調査等の体験を試行した。 	**■参加児童**　回答数：6人 **調査項目：**参加した感想 熊谷かわまち計画への意見 **■保護者対象**　回答数：8人 **調査項目：**参加した感想 熊谷かわまち計画への意見

2.社会実験企画　目的

➢ R6年度　社会実験のふりかえり（地域交流イベント）

熊谷市荒川かわまちづくり
社会実験　第１弾 10/6開催

10時～15時　主催：熊谷市建設部河川課

参加人数：60～70人



熊谷市荒川かわまちづくり
社会実験

会場 /　熊谷荒川緑地（入場無料）
時間 /　10：00～15：00 ※雨天中止













ピクニック広場



受付



ポールテント



キッチンカー



休憩スペース

バリアフリースロープ

全体

【活用教材】

水防災かるた

テント利用＆防災かるた体験

あそびの広場

遊具貸出し：風船バレーボール・
モルック等（インクルーシブ遊具）





自由に組み合わせる移動式遊具
（多年齢・主体性・創造性）



ブロックの配置を変えることで、年齢に応じた遊び方ができる遊具

いきもの広場



コクチバス



アユ



ニゴイ

魚コーナー



水生昆虫コーナー



コオニヤンマ

コヤマトンボ



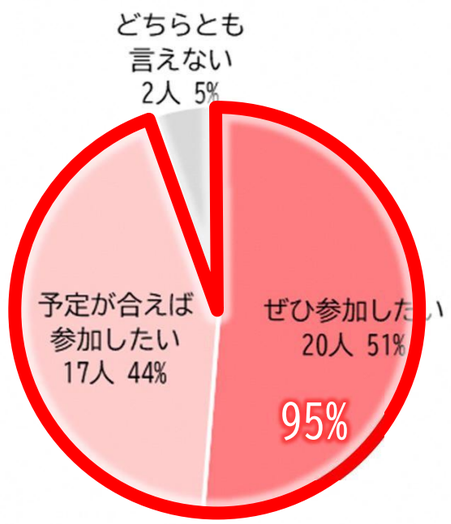
ヒラタドロムシ

2.社会実験企画　目的

➢ R6年度社会実験アンケート調査結果概要　（一般参加者対象）

問2 「熊谷市荒川かわまちづくり社会実験について（n＝39）

社会実験への参加意向



今後取り組んでほしいメニュー（n=21）

メニュー案	意見数
BBQ	5
スポーツ（鬼ごっこ、サッカー、ドッヂボール）	5
川遊び	4
釣り・魚とり	3
イベント（お笑いなど）	2
自然観察（触れる）・散策	2
キッチンカー	1
川の防災教室	1
体験	1
乗り物	1
ボルダリング	1
キャンプファイヤー	1
サウナ	1
その他	1

問3　その他、社会実験イベントや、かわまちづくりへのご意見やご提案（n=22）

分類	ご意見		意見数
社会実験	感想	・楽しかった	1
		・あいにくの雨で残念	2
	意見収集	・インターネットや市報やポスティングなどを使って広く意見を集めたい	1
	場所	・川辺での社会実験を体験したい	2
		・せっかく川があるのだから川をもっと活かせると良い	
	アンケート	・アンケートもQRコードなどでできるとよい	1
	開催頻度	・定期的にこのようなイベントを開催してください	1
	メニュー	・もっと食もあると助かります	1
かわまちづくり計画	全体	・頑張ってください	1
		・立派なものを期待 ・期待しかありません	2
	スポーツ利用	・鬼ごっこ、ドッヂボール、サッカー	4
	水辺利用	・子供が自然と川で遊べたらと思う ・危険もあるが、自然と共に遊べる場としての”川”を周知してほしい	2
	賑わい	・きれいに整備されれば人がたくさんあつまる場所になると思う ・小さい子ども向けイベントがあってほしい	2
	整備メニュー	・サウナやシャワーがあると嬉しい ・定期的に除草をしてほしい ・ドローンの実習 ・水辺に行ける道	4

2.社会実験企画　目的

➢ R6年度社会実験アンケート調査結果概要　（子ども対象）

みずべ利用チャレンジアンケート（複数回答　意見数合計：24）		
てぶらでもあそべるコーナー（意見数：10）	モルックが楽しかった！	3、4年生
	ふうせんバレーがたのしかった（羽生）	3、4年生
	ゆうぐがたのしかったです！	小学生未満
	モルックが楽しかったです	5、6年生
	大人とやったかるたがたのしかった	3、4年生
	ゆうぐがたのしかった	小学生未満
	ゆうぐがたのしかった！	3、4年生
	モルックをいっぱいたおせてうれしかったです。	1、2年生
	モルックが楽しかったです！	5、6年生
	ゆーぐがたのしかった	1、2年生
てぶらでもピクニックコーナー（意見数：1）	ハンモックが楽しかった。	3、4年生
みずべのいきものコーナー（意見数：7）	さかなをはじめてさわったのでたのしかったです	1、2年生
	さかなをさわれてうれしかったです。	1、2年生
	思ったよりたくさん種類がいて楽しかった。	5、6年生
	はじめてさかなおさわってできたしたのしかったよ。	1、2年生
	おさかなにさわれてたのしかった	小学生未満
	おさかながたのしかった	小学生未満
	おさかなをさわれてたのしかったです。	小学生未満
ラグビーボールにふれてみようコーナー（意見数：5）	タグラグビーが楽しかったです。	5、6年生
	タグラグビーがたのしかったです。	5、6年生
	タグラグビーがみんなとできて楽しかったです。	5、6年生
	タグラグビーでみんなで協力できてたのしかったです！	5、6年生
	タグラグビーがかっててうれしかったし、楽しかったです。	5、6年生

かわまちづくりへのみんなの意見（複数回答　意見数合計：18）		
宝探し	宝さがしをしたい！！	3、4年生
	宝さがしがやりたい（羽生）	3、4年生
	友だちといっしょにたからさがしをしたいです。	1、2年生
かくれんぼ	かくれんぼができるばしょがほしい	1、2年生
みんなで遊べる	みんなであそべるばしょ。	1、2年生
お祭りができる場所	お祭りができるばしょになってほしい	5、6年生
	お祭りできる場所になってほしい	5、6年生
	お祭りができる場所になってほしい！	5、6年生
	お祭りができる場所になったらいいな。	5、6年生
	お祭りができる場所になってほしい	5、6年生
	お祭りができる場所になったらいいな！	5、6年生
	お祭りができてみんなが交流できる場所になってほしいな！	5、6年生
友達とアスレチック	おともだちとおきいあすれちっくがしたい。	1、2年生
友達とサッカー	友達とサッカーをしたい。	3、4年生
川遊び・水遊び	川遊びをするところがほしい！！	3、4年生
	お水遊びがしたいです。	小学生未満
動物園	どうぶつえんがほしい！	3、4年生
生き物の展示ができる	自分でつかまえた生き物をてん示できる場所になってほしい	5、6年生

2.社会実験企画　目的

➢ 社会実験の目的

（今年度の新規目的）

新規目的1：利活用主体（プレイヤー）の発掘、コミュニティづくり

コミュニティ形成のきっかけとして、将来の河川の利活用の実践するプレイヤーの交流機会をつくることによる地域の活動体制づくりを支援します。

不定期な利活用イベント開催→定期的な利活用→利活用の定着

（実施期間：令和８年５月中旬～６月上旬、９月中旬～１１月下旬　週末１日想定）

（昨年度からの継続目標）

目的2：かわまちづくり計画への期待や、施策（案）のニーズの確認

かわまちづくりへの期待、ニーズの確認、ハード・ソフト施策（案）の満足度の確認

目的3：ハード・ソフト施策の実施上の問題点や課題の確認

検討段階では気付かなかった問題点や課題の確認、解決策の見出し

目的4：社会実験イベント→荒川の河川空間の魅力、かわまちづくりの取組の情報発信

荒川の多様な魅力（広いオープンスペース、水辺の自然環境、眺望、風景）の情報発信

3.社会実験企画　取組メニュー

➢ 社会実験の取組内容(ワークショップ意見)

・凡例

	：ワークショップ選定案
	：社会実験実施項目

ゾーン	ソフト施策（案）	具体メニュー（例）（下線は地域意見より）	R6年度社会実験実施状況	実施主体		
				国	市	市民
共通	A)地域の防災活動の充実 （防災訓練、防災学習イベント実施）	**■地域防災イベント利用**（R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・川の防災教室、テント張り体験、炊き出し、豪雨体験	●	○	○	○
スポーツ健康文化交流ゾーン（堤防）	B）堤防散策の魅力づくりの活動充実 （四季を通じた魅力、見どころ）	**■魅力づくり**（散策ルート・見どころマップ、サイン、駅とかわまちエリアに誘う歩行者動線、PR活動、四季を彩る花壇など） **■健康づくり・地域交流イベント利用**（中心市街地との連携、健康マイレージ事業との連携、秩父鉄道サイクルトレインとの連携（荒川上流域との交流）） ・ウォーキングイベント、サイクリングイベント	－		○	○
	C）公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致	■休憩サービスを提供する民間事業者の誘致（ウォーキングやサイクリングの休憩拠点・荒川を望むカフェ、姉妹都市ニュージーランドのカフェ）　※新市民体育館連携	－		○	○
	D）交通安全、防犯対策自転車の交通ルール・マナー周知活動や交通安全活動充実	**■交通安全学習イベント利用** ・自転車の交通ルール・マナーの周知活動や交通安全教室開催支援	－	○	○	○
スポーツ健康文化交流ゾーン（高水敷）	E）地域交流・健康づくり、スポーツイベント活動の充実	**■地域交流イベント利用** （R6社会実験結果を踏まえ、内容充実・対象を拡大） ・食：バーベキュー、ピクニック、マルシェ、キッチンカー、熊谷地場野菜の販売、いも煮会、お祭り ・遊び、憩い：子供向けイベント（体験）、遊び場づくり（鬼ごっこ、宝さがし、かくれんぼ、インクルーシブ遊具、健康遊具（ぶらさがり棒）、芝滑り）、水遊び、水辺の生き物触れ合い・動物園、ドッグラン、犬のアジリティ大会、ドローン、小型飛行機、パラグライダー、パフォーマンス芸人、のりものなど（子どもが好きなもの）こども・幼児が安全に遊べる芝生広場、お話会（※図書館連携）、星空観察会（※プラネタリューム連携） ・文化：音楽イベント（※文化センター連携） **■スポーツ健康づくり利用**（健康マイレージ事業、スマートシティ事業、公共交通との連携） ・スポーツ体験イベント、スポーツ教室（ラグビー、サッカー、ドッチボール、アスレチック、野球、ボルダリング、インクルーシブスポーツ、マレットゴルフ、テニス、ゴルフ、マラソン） （※地元スポーツ選手連携、地域スポーツチーム、自治会クラブ活動、体育館との連携） ・サウナ **■車の渋滞対策**（需要調整：健康マイレージ事業、スマートシティ事業、シェアサイクル等のモビリティ、公共交通との連携） **■清掃活動** ・清掃活動	●		○	○
	C）公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 （アウトドア用品・運動遊具貸し出し、バーベキュー場の運営等）		－		○	○

■得られる結果のイメージ

①社会実験への感想（防災意識の確認・向上）
②試行した内容に対する意見（満足度・課題）
③利活用やアクティビティ、河川管理（維持管理）や自然環境保全活動への参加意向
④利用者の属性、現状の利用頻度等

3.社会実験企画　取組メニュー

たたき案です

➢ 社会実験メニュー　“わくわく防災フェス～楽しみながら学ぼう、水辺の防災イベント～”

1）メニュー案：防災学習体験イベント

・飯ごう体験＆火起こし体験＆焼きマシュマロ体験
　→飯ごうを利用した炊飯を体験と火起こしを体験（お米は参加者持参）
・テント張り体験
　→数人でテントを設営する体験
・水のろ過体験
　→荒川の水を、高水敷の石・砂等を利用してろ過を体験
・避難所でもできる遊びの体験（ポータブルパーク）
　→能登半島地震の避難所でも使用されたポータブル遊具の活用
・豪雨体験
　→大雨体験、自然災害体験車両（国土交通省に事前申し込み必要）
・炊き出し
　→自衛隊の協力が得られる場合

災害時の子どものこころのケアを考える



能登半島地震避難所
出典：メーカーカタログ



←自在で自由な遊び、創造性を育む、多年齢、インクルーシブ、安全、軽量・コンパクト

ポータブル遊具

防災学習体験の参考写真



飯ごう体験＆火起こし体験

火起こしと防災食づくり＆川で火を使う利用の試行



水のろ過体験

水道が使えなくなった時に備えよう



テント張り体験

チョークで落書き＆落書きそうじ



避難所でもできる遊びの体験
ポータブルパーク



自然災害体験車

3.社会実験企画　取組メニュー

➢ 社会実験メニュー　（たたき案）

2）メニュー案：各団体の自主事業や既存イベントとの連携メニュー　→地域団体が主体に運営

・食のイベント（キッチンカー、福祉事業所の販売）
　→熊谷市観光協会、商工会議所、障がい者団体連絡協議会
・各団体の自主事業、既存イベントとの連携（多世代イベント、子育てイベント、清掃活動）
　→熊谷市スポーツ協会、子育てネットくまがや、障がい者団体連絡協議会、くまかんれん
・スポーツ健康づくりイベント（ヨガ教室、ウオーキング大会）
　→熊谷市スポーツ協会
・青空広場、インクルーシブな遊び体験
　→子育てネットくまがや、障がい者団体連絡協議会



上記の連携メニューの参考写真




タグラグビー教室

【スポーツイベントとの連携】


ウォーキング教室


青空ヨガ教室

【健康づくりイベントとの連携】


モルック（貸出遊具）


休憩コーナー・青空広場

【食のイベント、子育てイベント、
インクルーシブな遊び体験】

3.社会実験企画　取組メニュー

➢ 社会実験メニュー(対象者)(たたき案)

項目		想定対象者				
		未就学児	小学生	一般	対象人数	
〇防災学習体験						
1	飯ごう体験＆火起こし体験＆焼きマシュマロ体験		●	●	6組×2セット（4人1組）	48人 12家族
2	テント張り体験	●	●	●	4組（4人1組）	16人 4家族
3	ろ過体験	●	●	●	20人	
4	避難所でもできる遊びの体験	●	●	●	フリー	
5	豪雨体験（国交省）	●	●	●	フリー	
6	炊き出し（自衛隊）	●	●	●	フリー	
〇防災学習に並行したイベント						
1	食のイベント	●	●	●	-	
2	各団体の自主事業、既存イベントとの連携（多世代イベント、子育てイベント、清掃活動）			●	-	
3	スポーツ健康づくりイベント（ヨガ教室、ウオーキング大会）		●	●	-	
4	青空広場、インクルーシブな遊び体験	●	●	●	-	

・その他運営支援

安全管理・渋滞対策（警備員、シェアサイクル）
地域企業とのつなぎ役

3.社会実験企画　取組メニュー

➢ 社会実験メニュー（実施できそうなメニュー）

2.防災学習に並行してイベントを実施

活動メニュー	団体	取り組み内容
つなぐ仕組みづくり	熊谷商工会議所	**地域企業との連携紹介** ・熊谷商工会議所は地域貢献を行っている地域企業の集まりであるため、それらの企業を紹介する
地域交流イベント	熊谷市立 桜木小学校	**テント宿泊イベント** ・年 1～2 回程度開催 ・業者を入れて、テントの建て方を教えてもらう
	熊谷市観光協会	**食のイベント** ・熊谷市観光協会の会員であるキッチンカーを所有している方に呼びかけを行う
	熊谷市障害者団体連絡協議会	**お祭り** ・他団体と連携し、企画・運営をする ・福祉事業所の販売、車いす体験、車いすで出来る遊びやスポーツ
	子育てネット くまがや	**ミニくま SUN フェスタ** ・既存イベントとの連携 ・平日 AM に開催する ・社会実験で利用したインクルーシブ遊具体験をしたい
		青空広場 ・社会実験で利用した手遊び、絵本、ベンチを利用したい
		公園で遊ぼう in 荒川河川敷 ・土曜日 AM に開催する ・社会実験で利用したようなキッチンカーを利用したい
地域交流イベント 環境学習	埼玉県 生態系保護協会 熊谷の環境を 考える連絡協議会	**野原再生プロジェクト** ・野原再生プロジェクトの共創パートナーになる ・カワラナデシコ等の野はらの再生活動を通じて荒川の上流(熊谷)・中流(川島)・下流(荒川区等)との地域交流を進める

活動メニュー	団体	取り組み内容
スポーツ健康づくり	熊谷市 スポーツ協会	**多世代イベント** ・スポーツ協会加盟団体及びスポーツ協会支援スポーツ団体との連携 ・親子参加、祖父母と孫参加 ・グラウンド・ゴルフ（グラウンド・ゴルフ協会　道具あり） ・ベーゴマ、フライングディスク（ピース地域総合型スポーツクラブ） ・大縄跳び（スポーツ協会　道具あり）　等
		スポーツ健康づくりイベント ・スポーツ協会自主事業との連携 ・青空の下野外ヨガ教室 ・水辺の散策路等でノルディックウォーキング講習会 ・スポーツ協会加盟団体及び協会支援スポーツ団体との連携 ・ラグビーイベント・ソフトボール大会・サッカー基本体験会等
清掃活動	熊谷の環境を 考える連絡協議会	**清掃活動（既存イベントとの連携）** ・年 1 回、11 月第 1 日曜日に清掃活動を行っている ・参加者は市民、子ども会、企業、組合等
渋滞対策	熊谷市観光協会	**渋滞対策（既存イベントとの連携）** ・さくら祭で警備員を配置しているため、ノウハウがある
	熊谷市 スポーツ協会	**シェアサイクルステーション** ・シェアサイクルステーションの増設 ・ワイルドナイツサイクルステーションとの連携
その他	荒川自治会連合会	**防災訓練** ・地域住民が参加
		グラウンドゴルフ大会 ・自治会住民が参加
		ウォーキング大会 ・地域住民が参加
		芋煮会 ・地域住民が参加
		宝探し ・地域主催

1）　都市・地域再生等利用区域の指定に向けた調整

➢ 都市・地域再生等利用区域の指定（河川空間のオープン化）について

概要

河川敷地の占用主体は原則として公共性・公益性を有する者であるが、河川敷地をにぎわいのある水辺空間として積極的に活用したいというニーズの高まりを受け、**平成２３年に河川敷地占用許可準則を改正し**、一定の要件を満たす場合、「都市・地域再生等利用区域」を指定して、**営業活動を行う事業者等も河川敷地の利用を可能**としたもの。
⇒ 河川空間のオープン化


広島県　京橋川　　水辺のオープンカフェ


大阪府　土佐堀川　　飲食店の川テラス



愛知県　乙川　　イベント空間

オープン化が適用される要件

- ✓ 河川敷地を利用する区域、施設、主体について地域の合意が図られていること。
- ✓ 通常の占用許可でも満たすべき各種基準に該当すること。
  （治水上及び利水上の支障がないこと等）
- ✓ 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること


埼玉県　荒川　　バーベキュー場

都市・地域再生等利用区域において占用許可が可能な施設

- ➢ 広場、イベント施設、遊歩道、船着場
- ➢ 前述の施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、バーベキュー場、切符売場、案内所、船舶修理場等

1）　都市・地域再生等利用区域の指定に向けた調整

➢ かわまちづくりの運営パターン

活動初期

情報発信
活動定着
プレイヤー
定着

将　来

分類	模式図	概要	イメージ
①市町村占用型	河川区域 河川管理者 ←占用→ 市町村	市町村が河川敷地を占用し、地域住民による日常活用やイベント等の一時的活用を実施。市町村が事務局の協議会が占用している場合もある。	 長井地区かわまちづくり
②市町村占用・民間連携型	河川区域 河川管理者 ←占用→ 市町村 ←契約→ 民間 ・事業 ・運営 ・管理	市町村が河川敷地を占用し、占用区域内で民間事業者が事業や施設運営、エリアマネジメントを実施。市町村が事務局の協議会が占用している場合もある。	 信濃川やすらぎ堤かわまちづくり
③民間占用型	河川区域 河川管理者 ←占用→ 民間	民間事業者が河川敷地を占用し、事業や施設運営、エリアマネジメントを実施。	 大阪市かわまちづくり（道頓堀川）
④沿川施設一体活用型	河川区域　隣接施設 河川管理者 ←占用/連携→ 市町村　民間	河川に隣接する施設（公園や建築物など）の所有者・管理者が河川空間との一体的活用を実施。施設が河川区域を使用するなどして占用する場合もあるが、管理エリアが完全に区分され占用が不要な場合もある。	 盛岡地区かわまちづくり（木伏緑地）

【その他事例】
多摩市聖蹟桜ヶ丘地区
（多摩川）

埼玉県飯能市飯能河原及び周辺
（入間川）

世田谷区二子玉川駅周辺地区
（多摩川）

1）　都市・地域再生等利用区域の指定に向けた調整

別紙①　受賞箇所の取組及び評価

令和６年度 かわまち大賞

かわまち

聖蹟桜ヶ丘（せいせきさくらがおか）かわまちづくり

【題名】川を起点に賑わい拡がる　持続可能なかわまちづくり

【河川】多摩川水系・多摩川（一級河川）





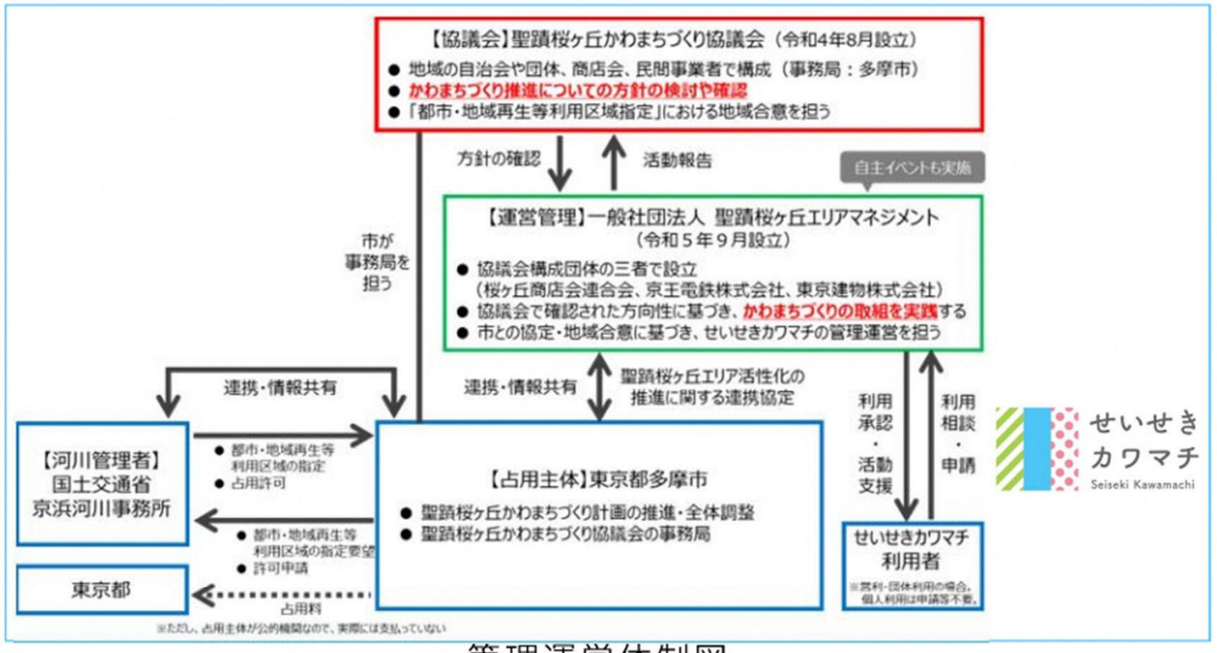



かわまちづくりの概要

- 駅近くの河川空間に芝生広場「せいせきカワマチ（多摩川河川敷芝生広場）」を整備し、堤防天端にはキッチンカー停車場や案内看板を設置して新たな賑わい拠点を創出した。隣接エリアでは商業施設やタワーマンションも建設され、地域全体で活用が進められている。
- 社会実験を経て広場の利用ルールを設定し、民間事業者や地域団体による多様な活用を展開。協議会でかわまちづくり推進の方針を検討し、実行組織として設立したエリアマネジメント団体が管理運営を担い、収益事業やイベントを通じた地域活性化を推進している。
- 親水軸を通過する歩行者数が増加し、イベント時・日常を問わず市民に親しまれる河川空間となっている。

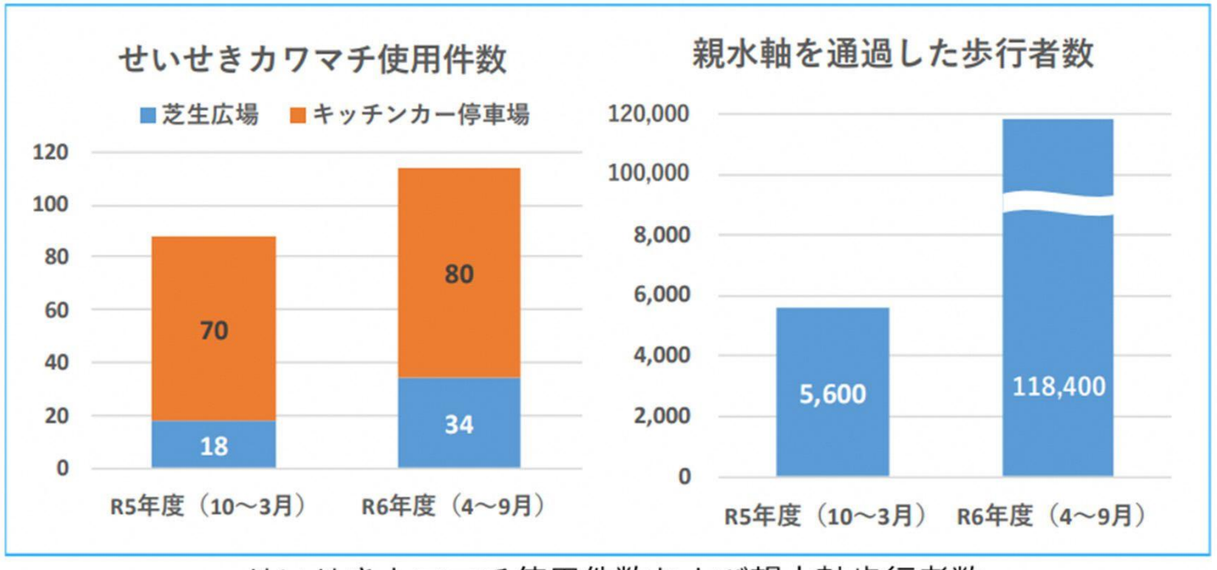
体制

- 推進主体：聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり協議会
  一般社団法人聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメント 他



管理運営体制図

効果



せいせきカワマチ使用件数および親水軸歩行者数

2）　かわまちづくりの推進体制

➢ 実施体制　熊谷市荒川かわまちづくり推進部会の設置

目的：民間事業者や団体等による河川敷地の柔軟かつ積極的な活用の充実に向け、荒川に関わる地域の多様な主体と情報交換や意見交換を行いつつ下記を検討する。

・R8年度開催予定の社会実験の実施に向けた具体的な検討調整

・地域連携によるかわまちづくりの推進体制の検討（活動内容、実施体制・各団体の活動をつなぐ仕組みづくり、運営方法、ルール等）

■R5年度　企画構想段階
・市民参加の場の設定
（協議会委員の選定、
全体企画の検討等）
・計画素案の作成

■R6年度　計画作成段階
・基本方針、ゾーニングの検討
・個別施策内容の検討
・活動内容の検討

■R7年度　活動推進段階
・R7.8 かわまちづくり計画登録✨
・活動推進の検討
・都市・地域再生等利用区域の
指定に向けた検討・調整

地域意見把握
・ヒアリング57人
・アンケート813票
（市民・自治会）

協議会（全4回）
・協議会構成委員12名

市民ワークショップ
・参加者17人～25人/回

社会実験（2回）
・参加者　70～80人(10/6)
20人(10/26)

協議会（第5回　12/18）
・協議会構成委員12名

推進部会
・構成委員（調整事項）

【実施体制】

熊谷市荒川かわまちづくり協議会

連携

熊谷市荒川かわまちづくり推進部会（仮称）

時期	開催名	検討内容
R8年　月　日	推進部会	■キックオフミーティング 集まってワイワイやろう！仲間をつくろう！ ・計画概要説明　・社会実験の実施状況 ・R8年度社会実験企画（時期、取組メニュー、スケジュール、役割分担（案））